

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|-----------------------|------------------------------|--------|---|--|
| ○事業所名 | チャイルドウィッシュ北方2号店 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 年 月 日 ~ 年 月 日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 (対象者数) | 0 | (回答者数) | 0 | |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 26日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 (対象者数) | | (回答者数) | | |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 19日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 季節に合わせたクッキングや製作、実験教室、集団遊びなどの様々な活動を行っている。 | 様々なことに挑戦できるように活動を固定化しないようにしています。また、活動内容の提案をチームで行っています。 | もっと楽しいと思えるような活動を増やしていきます。 |
| 2 | 事業所の広さ、過ごしやすさ | 広々とした造りで子どもたちが過ごしやすい空間になっている。 怪我防止のため、スポンジ素材の床材を敷いている。 外にはスロープの設置、室内の段差にもスロープを設置してバリアフリー化をおこなっている。 | 定期的に安全点検を行い、安心安全に過ごしていただけるよう努めています。 |
| 3 | 子どもの特性等に合わせた支援 | 子どもの様子を見ながら、就学に向けて自分できる事を増やしていくけるよう支援している。 | 個々に合わせた支援内容を充実させ、どの職員も行うができるよう、支援力の向上を図ります。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が無い。 | 放課後児童クラブや児童館、地域の子どもとの交流を現在行っていない。 | 定期的に安全点検を行い、安心安全に過ごしていただけるよう努めています。 |
| 2 | 家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。 | 家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等を現在行っていない。 | 機会、要望があれば開催について検討していきます。 |
| 3 | 保護者同士、きょうだい同士の交流の機会が少ない。 | 今年度は一度しか開催することができなかった。 | もっと頻度を増やし、たくさんの家族に参加していただけるようにしていきます。 内容についても、より楽しんでいただけるよう再度検討していきます。 |